

第1研究班

豪雪地帯のヘルスケアニーズに基づく実践の優先度評価に関する開発研究

研究班代表者 吉山直樹  
新潟県立看護大学 (病態学)

Wide Range Studies on Health and Social Support Needs for the Elderly People  
Residing in Heavy Snowfall Areas of Niigata Prefecture

Naoki Yoshiyama  
Niigata College of Nursing (Clinical Pathophysiology)

研究班の概況

第1研究班では、2年間の研究期間の後半である平成15年度も引き続き本県の豪雪へき地地域の保健医療福祉分野のニーズ（ヘルスケアニーズ）の掘り起こしをおこない、これへの解決のため本学が寄与できる実践の具体的内容の優先度を検討し、さらには長期的展望のもとに自治体と共に問題を解決できる体制を確立すべく活動をおこなってきた。

本研究の完了により、一定の成果をあげたことが確認され、また、今後の保健医療福祉分野のめざす方向性について示すことができた、と総括している。

研究グループ

(1) 大友グループ

研究テーマ：豪雪地帯における「社会的援護を要する人々」のための保健医療施策と事業の再編方向に関する研究

研究代表者：大友康博，共同研究者：大友優子

(2) 吉山グループ

研究テーマ：医療専門職のライフコース (Pass of Life) 研究—医師の場合について

研究代表者：吉山直樹，共同研究者：佐々木美佐子

(3) 佐々木グループ

研究テーマ：山間豪雪地における高齢者の生活構造とソーシャル・サポート・ニーズに関する研究  
(第2報)

研究代表者：佐々木美佐子，共同研究者：小林恵子，平澤則子，飯吉令枝，  
斎藤智子

(4) 杉田グループ

研究テーマ：地域ケアを支える住宅環境に関する研究—室内ホルムアルデヒドの簡易測定法—

研究代表者：杉田 収，共同研究者：佐々木美佐子，小林恵子，平澤則子，  
飯吉令枝，斎藤智子，吉山直樹，関谷伸一，橋本明浩